

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人 野又学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	歯科衛生士科	夜・通信	82 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/themes/h-dental/info/pdf/zitsumu_kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/2019yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人函館共愛会 本部事務局長	令和1年5月26日 ～令和4年5月25日	財務・経営
非常勤	日東製網KK技術顧問 金沢大学客員教授	令和1年5月26日 ～令和4年5月25日	財務・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人 野又学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本年度の自己点検評価ならびに、次年度の事業計画案ができた時点でシラバス作成会議を開催し、各教科の重点課題について協議する。</p> <p>次に、教科担当者は重点課題を踏まえたうえで授業を計画し、共通フォーマットを使用してシラバスを作成する。</p> <p>新生にはオリエンテーションにて説明し、在校生には年度の始業日に配布し説明しているほか、担当教員によっては授業の初回に直接学生にたいし説明している。</p> <p>学校ホームページの『情報公開』にて開示している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/uploads/2019/05/r01_syllabus.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスには教科ごとに評価方法が記載されているが、全ては100点満点とし、60点以上が合格で単位認定となる。また前期・後期それぞれに定期試験週間があり、授業の80%以上の出席にて受験資格となる。</p> <p>新生のオリエンテーションに、学生便覧、シラバスを使用して説明しているほか、前期試験週間のまえに再度説明している。</p> <p>試験終了後には、成績会議を開催し合格者には単位を認定し、不合格者は再試験となる。会議の際には学生一覧表に点数の入った資料と、総合点順の一覧表を用いている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各教科については100点満点中の60点以上で合格である。 前期・後期の成績順位は、試験教科の総合点によるものである。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/uploads/2019/05/r01_gakusei_binran.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定の条件は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業科目の学科試験、実習評価に合格し、全ての単位取得が認定されていること ・卒業認定までに学費が全額納入されていること。 <p>上記結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/uploads/2019/05/r01_gakusei_binran.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	函館歯科衛生士専門学校
設置者名	学校法人 野又学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/themes/h-dental/info/pdf/h30_3_zaimu_gaiyo.pdf
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/themes/h-dental/info/pdf/h30_2_jigyo_gaiyo.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/themes/h-dental/info/pdf/h30_4_kansa_houkoku.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士科	平成22年 文部科学省 告示第152号	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2985時間 単位時間/単位	1325 時間	720 時間	900 時間	0 時間	40 時間
	夜間		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		107人	0人	7人	57人	64人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本年度の自己点検評価ならびに、次年度の事業計画案ができた時点でシラバス作成会議を開催し、各教科の重点課題について協議する。</p> <p>次に、教科担当者は重点課題を踏まえたうえで授業を計画し、共通フォーマットを使用してシラバスを作成する。</p> <p>新入生にはオリエンテーションにて説明し、在校生には年度の始業日に配布し説明しているほか、担当教員によっては授業の初回に直接学生にたいし説明している。</p> <p>学校ホームページの『情報公開』にて開示している。</p>

成績評価の基準・方法
(概要) 各教科については100点満点中の60点以上で合格である。 前期・後期の成績順位は、試験教科の総合点によるものである。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定の条件は ・全ての授業科目の学科試験、実習評価に合格し、全ての単位取得が認定されていること ・卒業認定までに学費が全額納入されていること。 上記結果をもって卒業認定会議を開催し、要件を満たしていると判断された場合に卒業を認定している。
学修支援等
(概要) クラス担任制：有 個別相談・指導等の対応：学生との個人面談

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (%)	33人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 就職ガイダンス 計5回			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家試験 100%、医療事務管理認定試験 100%、サービス・接遇検定 94.5%			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111人	5人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、単位未修得、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級運営の組織的な取り組みと担任を中心として、学生との面談を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士科	200,000 円	550,000 円	190,000 円	その他は実験実習費 (年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/uploads/2019/05/h30_report01.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
『自己点検評価報告書』が完成した後、委員全員に集まっていただき開催している。報告書に基づいて学校側から説明、質疑応答、委員から意見・評価をいただく。 (構成) 企業等委員 3 名 (函館歯科医師会 2 名、北海道歯科衛生士会函館支部 1 名) 実習施設指導者 1 名、卒業生 1 名の、以上 5 名 (項目) 教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集 (活用) 委員の意見は項目毎に集約し、速やかに学校教職員に報告し情報を共有する。課題となる項目に関しては、教員会議の際に協議するほか、教務委員会にて協議し改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一社) 函館歯科医師会 戸井歯科診療所	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業 (副会長)
一社) 函館歯科医師会 大内歯科医院	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業 (理事)
一社) 北海道歯科衛生士会函館支部	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業 (支部長)
なしき歯科医院	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	実習施設指導者
函館歯科衛生士専門学校 同窓会	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nomata-dental.ac.jp/wp-content/themes/h-dental/info/pdf/h30_report02.pdf		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

URL : <http://www.nomata-dental.ac.jp>